



交通信号工事士技能検定合格

363名

ごあいさつ



常務理事 古市光明

(株)シンコーワ代表取締役社長

「交通信号工事士技能検定」が8月3日全国一斉に実施されました。昨年度までは協会員のみが受験可能な検定であったのですが、今年度からは受験条件を改正し、誰でも受験可能となりました。

その結果、受験者が408名で技能検定に合格された方は363名となり、交通信号工事士資格取得者の総数は2,000名を超えました。この結果が意味するものは、信号機業界において「交通信号工事士」の社会的地位が認められつつあるのではないのでしょうか。社会的地位の向上は、資格保有者数、個々の技術力や専門的知識を有している、社会的にこの制度が採用されること等が挙げられますが、その一つがほぼ達成されつつあるのではないのでしょうか。

平成26年度の技術講習会が5月に開催され300名程度の方が受講されました。

この講習会は、「交通信号工事施工ハンドブック」と同じく先ほども申し上げた認定者のいわゆる「質」を向上させるための機会なのです。この信号業界は、分業が発達してきております。信号機図面を作成する工程、現場で信号機を設置する工程、保守管理する工程等各分野で専門性を必要とされています。そして信号機の機能を十分に発揮するにはそのすべての知識が必要となります。

この「交通信号工事士」資格が2年後には1,000名程度の方が技術講習会を受講していただかないと資格を失効してしまいます。会員の方々には効率的な受講対策をお願いしたいと考えております。

当協会の発展は、会員皆様のご協力によって成り立っております。今後とも皆様のご支援を頂きながら協会発展に努力したいと思っております。

信号甲子園出場チーム募集

当協会では、平成25年から三重県菟野町で「交通信号甲子園」を試験的に開催しております。これは信号工事技術を向上することを目的として、その技術を競い合う競技会です。そしてもう一つの目的は、将来発生すると予想されている大規模災害のために、その復旧対策としているのです。

また、平成26年からは「交通信号甲子園」の関東版が発足しました。こちらは信号工事技術の向上を目的としております。そして数年後に開催される「交通信号甲子園」関西版の準備が着々と進捗しつつあります。

2年間の試験実施を踏まえ、開催要綱、競技進行等の計画及び運営が順調に推移したことから、来年度は広く参加チームを募集することといたしました。

過去に参加されたチームの方は口々に自社の技術レベルが全国的にどの位置なのか判る、新しい技術が学べる等非常に好評を博しています。なお、詳細については、後日告知いたします。

開催予定

1 「交通信号甲子園(関東版)」

- (1) 開催場所 埼玉県児玉郡上里町
- (2) 開催日 平成27年5月20日(水)

2 「交通信号甲子園(防災版)」

- (1) 開催場所 三重県三重郡菟野町
- (2) 開催日 平成27年6月1日(月)

工場見学

交通信号工事に携わっている我々は、日ごろ手にしている灯器取付金具等の材料について、それがどのような工程を経て作り出されているのかあまり関心がありません。そこで会員の有志によりその関連工場を見学し知識を得ることといたしました。

今回訪問する会社は、千葉県松戸市に所在するイワブチ株式会社です。もちろん当協会に加入していただいております。

イワブチ株式会社は、昭和25年8月設立、資本金14億9,695万円、代表取締役社長は内田秀吾氏、従業員数299名、松戸市内に2工場、国内に6支店、系列会社として、北海道に1会社、中国に1会社を有しています。経営理念は、「地球環境を踏まえ、豊かな生活・文化をもたらす夢の実現へチャレンジし続けます。」。生産部門においては、IPI(Iwabuchi Product Innovation)活動を推進し、より良い製品の生産を目指しています。

事業内容は、電力、通信、信号、放送、鉄道用各種電気架線金物、送配電機器の部品、通信・放送用受信装置及び支持機材、各種電気絶縁物及び各種電気接続機器の製造販売です。

もちろん松戸市の主要企業であるマブチモーター(株)、(株)マツモトキヨシホールディングス等と肩を並べる規模の企業で松戸市で5指に入っているそうです。

松戸市は東京のベッドタウンとして発達しており、50万人弱の人口を擁し、千葉県で第3位の都市です。また、通勤者の1/3は東京への通勤者です。

平成26年9月24日、理事長以下14名の有志によりイワブチ(株)を訪れ、工場を見学しました。

あいにくと内田社長は不在でありましたが、大石取締役、渡邊取締役等から各工程の丁寧な説明を受けました。

流通センター、確性試験、金型設計と製作、屋内試験、プレス工程、メッキ工程、組立工程、梱包工程を順次見学しました。

特に金型の製作については、通常は金型は外注するのですが、イワブチ株式会社では自社で設計製作しており、費用と製作の効率化を実現しておりました。

プレス工程においては、プレス機により鉄板が鉛細工のようにいとも簡単に成形されていました。メッキ工程においては、耐候性メッキに力を傾注しているとのことでした。実装柱荷重試験室においては取付バンドの破壊荷重試験を実際に行っていただき、その強度と破壊時の衝撃に見学者一同驚きを隠せませんでした。



金型工程を見学する協会員



災害協定の推進

当協会では、三重県警察と災害協定を平成23年に締結いたしました。これは、近い将来発生すると予想されている東海地震、東南海地震及び南海地震による津波と地震による交通信号機等の甚大な被害を早期に復旧する目的で締結されたものです。

将来的には、全ての都道府県警察と災害協定を締結し、国内のいかなる場所で甚大な被害が発生しても早期復旧を可能とする事業を推進していくこととしています。

そのため協会としては、この趣旨に賛同していただき、協力していただく企業を広く募集しております。詳細については、当協会事務局までご連絡ください。

ご協力よろしくお願いします。

なお、災害協定は経営事項審査の審査項目に指定されており審査に合格すると15点加点となります。

労働災害と交通事故

交通事故も労災事故も、交通ルールに違反したとか、業務毎に定められたルールや上司の指示・命令に違反したときに発生しており、そのほとんどが当事者の漫然運転、脇見運転、速度違反、操作不適、動静不注視、安全不確認、協力不足等々、であり個々人又は組織のヒューマンエラーである。

ヒューマンエラーとは、人間の過誤(ミス)のことです。人為的ミスとも呼ばれます。不本意な結果を生み出す行為や、不本意な結果を防ぐことに失敗することです。特に、安全工学や人間工学では、事故原因となる作業員やユーザーの過失を指します。

ヒューマンエラーの深刻さは当事者にとっては大した失敗と思っていないのですが、この凡ミスが本人や家族や被害者さらには会社にとっても甚大な被害をもたらすのです。

この凡ミスはどうして起こるのか考えてみましょう。

一つは、道路交通法等の法律違反や会社規定等のルール違反です。

二つ目は、仕事上の契約内容や業務に定められたルールや上司の指示・命令に対する違反です。

この二つを一言でいえば順法精神の欠如です。簡単な表現で言えば、なすべき行動の省略行動や近道行動であり、精神的な怠慢であります。

三つ目の凡ミスの原因は、自分に直接与えられた仕事さえきちんとやっていたら良いという見の狭い意識にあります。同僚、部下、仲間の失敗・失策に対しフォロー(補い・助けること)するとか、これを放置しておけば組織の失敗や信頼が失われるという危機意識の欠如、即ち、組織の一員としての誇りや仲間意識(団結心・協力心・責任感)の喪失です。これも簡単な表現で言えば、向上心を失った悪い意味の「サラリーマン根性」が原因です。

会社や作業現場において、この三つの凡ミスをしていませんか?下記のことを守っていますか。

- ① 早めに装備資器材の準備をして早めに出発
 - ② 現場への往路・復路の安全運転のための補助・注意(安全運転はみんなの目と心で)
 - ③ 現場作業の目的と留意点についての助け合いによる失敗予防(ツールボックスミーティング)
 - ④ 作業終了時の現場の清掃、忘れ物の点検
 - ⑤ 会社に着いたら資器材の整理整頓と車の清掃
- 等々です。これが職場の6S運動の標語「整理・整頓・清潔・清掃・躰・習慣」とか「報告・連絡・相談・確認」の励行に秘められた凡ミス防止の知恵・秘訣なのです。 (ミナモト通信株式会社顧問(元佐世保警察署長) 朝倉 義信)

参考として平成25年の労働災害の発生状況と交通事故の発生状況を下記に表します。

労働災害発生状況

- 死亡者数 1,030人(昨年対比63人減)
業種別では、建設業342人、第3次産業282人、製造業201人
事故類型別 墜落・転落(266人)、挟まれ・巻き込まれ(132人)
- 死傷災害発生状況
死傷者数 118,157人(昨年比1,419人減)
業種別では第3次産業(51,420人)、製造業(27,077人)、建設業(17,189人)
事故類型別 転倒(25,878人)、墜落・転落(20,182人)、挟まれ・巻き込まれ(15,276人)

| 交通事故発生状況 | 発生件数 | 構成率(%) | 前年比 | | 平成15年比 |
|----------|---------|--------|--------|------|--------|
| | | | 件数 | % | |
| 発生件数 | 629,021 | 100.0 | 36,117 | 5.40 | 0.66 |
| 死亡事故 | 4,278 | 0.7 | 2 | 0.00 | 0.57 |
| 重傷事故 | 42,361 | 6.7 | 2,106 | 4.70 | 0.60 |
| 軽傷事故 | 582,382 | 92.6 | 34,009 | 5.50 | 0.67 |
| 死傷者数 | 785,867 | 100.0 | 43,940 | 5.30 | 0.66 |
| 死者数 | 4,373 | 0.6 | 38 | 0.90 | 0.56 |
| 負傷者数 | 781,494 | 99.4 | 43,902 | 5.30 | 0.66 |
| 重傷者 | 44,547 | 5.7 | 2,118 | 4.50 | 0.59 |
| 軽傷者 | 736,947 | 93.8 | 41,784 | 5.40 | 0.67 |

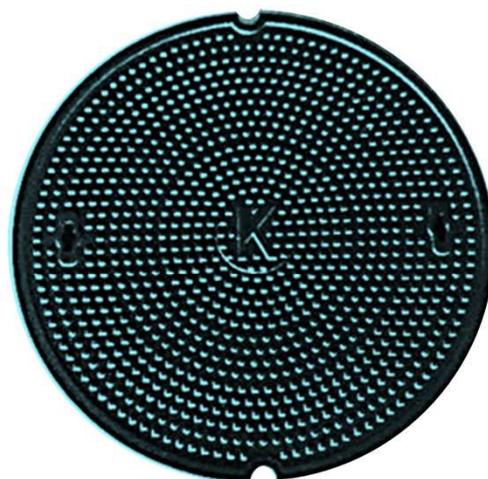
お問合せ先

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号
 一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
 TEL:03-6659-3586 FAX:03-3846-5582
 URL: <http://www.zenshinko.jp/> E-mail: info@zenshinko.jp

都市をより快適な空間へと進化させる 「設備の総合エンジニアリング企業」

KANDO 株式会社 **カンドー**

信号用ハンドホール



スリッパ防止型鉄蓋

- 段積みタイプで深さ調整が簡単
- 下段まで「底版一体型」で施工が簡単
- 4面に「ノックアウト」で配管が簡単
- ボルト固定で鉄蓋のレベル調整が簡単

●●● 鉄蓋の特性

独立した凸形状を、同心配置することにより、何れの方角からの進入に対しても性能を発揮

耐スリッパ性 C.S.R 0.55 以上
耐つまずき性 C.S.R 0.90 以下

- ◎ 「警視庁」・「千葉県警察本部」で仕様承認をいただいております。
- ◎ その他、各種マンホール・ハンドホールも取り扱っております。

株式会社 カンドー 〒143-0016 東京都大田区大森北 3-3-13

製品に関するお問い合わせ先

→ 営業グループ
TEL 03-5764-3232 FAX 03-5767-0088

工事に関するお問い合わせ先

→ 安全施設グループ
TEL 03-5767-5455 FAX 03-5767-0088

製造：北海道工場・埼玉工場(※信号用ハンドホールの製造工場)・熊本工場

平成26年11月吉日

関係各位

(社) 全国交通信号工事技術普及協会
防災・安全衛生委員会 委員長 竹重 進

交通信号工事甲子園（防災版）・（関東版）のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当協会では交通信号施設工事従事者の技術・技能向上に努め「交通信号工事士」の資格認定制度の浸透に向けて取り組んでおります。その一環といたしまして「交通信号工事甲子園」を開催しておりますが、本年に引き続き来年も下記のとおり開催することと致しました。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、皆様のご参加を頂きたくご案内申し上げます。お手数をお掛けいたしますが、下記の参加申込書にご記入の上、この用紙を返信願います。敬具

◆募集要項◆

◎防災版

【開催日】 平成27年6月1日（月）

【開催場所】 三重県三重郡菟野町 株式会社シンコーワ 三重営業所

◎関東版

【開催日】 平成27年5月20日（水）

【開催場所】 埼玉県児玉郡上里町 株式会社カンドー 埼玉工場

◎共通

【参加資格】 協会正会員

【募集締切】 平成27年4月17日（金）

競技内容等詳細は、後日お送りする「開催要綱」をご確認ください。

※このままFAXにてご返送ください。

| 参加申込書 | | FAX 03-3846-5582 | |
|-----------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 防災版に参加する | | <input type="checkbox"/> 関東版に参加する | |
| 会社名 | | 担当者名 | |
| 住所 | | | |
| 電話 | | FAX | |

※ 応募が多数となった場合、抽選とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

お申し込み先

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会 防災・安全衛生委員会 交通信号工事甲子園準備委員会

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号 TEL 03-6659-3586 FAX 03-3846-5582

平成26年11月吉日

関係各位

(社) 全国交通信号工事技術普及協会
理事長 丹下 正彦

「防災協定」締結のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当協会は、平成24年3月に三重県警察本部と防災協定を締結いたしました。

この協定は、地震等による災害で三重県公安委員会の管理する交通安全施設に被害が発生した場合、三重県警察本部と当協会が協力して、迅速な調査・復旧工事を実施し、施設の機能回復を目的としております。

現在、当協会ではこの協定に基づいて災害時の体制強化を進めております。つきましては会員企業様と当協会間で「防災協定」の締結をお願い致したく、その事前アンケートを実施することと致しました。

ご多用のところ恐縮ですが、下記のアンケートにご協力をお願い致します。

敬具

※このままFAXにて平成27年1月31日までにご返送ください。

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--|
| 防災協定アンケート | | FAX 03-3846-5582 | |
| <input type="checkbox"/> 協力できる | <input type="checkbox"/> 検討する | <input type="checkbox"/> 協力できない | |
| 会社名 | | 担当者名 | |
| 住所 | | | |
| 電話 | | FAX | |

【返送先】

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会 防災・安全衛生委員会

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号 TEL 03-6659-3586 FAX 03-3846-5582